

政治史Ⅱ

科目ナンバリング POL-104
選択 2単位

日暮 吉延

1. 授業の概要(ねらい)

この講義の目的は、戦後日本の政治史についての詳細な検討を通じて、国家の行動、政治家・官僚の意思決定、権力闘争などをリアルに理解することです。主要な検討対象は戦後日本政治史ですが、現代国家の内政と外交は密接に連動しているので、国際環境、諸外国との関係についても検討します。

なお戦前期日本の外交を学ぶ日暮担当の「外交史」は、この講義と密接な関係にあります。

2. 授業の到達目標

- 1) 政治史に関する基礎的な知識を修得し、政治外交の仕組みを他者に説明できる。
- 2) 「政治」の具体的なあり方、日本社会の特質を理解できる。
- 3) 内政と外交がいかに関連しているかを具体的ケースに即して理解できる。
- 4) 戦後日本の政治過程の分析を通じて、現在の日本の位置について理解できる。

3. 成績評価の方法および基準

試験の成績(90%)、ディスカッション・ペーパー、授業への貢献度(10%)等を評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

特定の教科書は使用せず、授業中に参考資料を配付します。

参考文献

前期「政治史(日本)Ⅰ」の参考文献を参照

5. 準備学修の内容

毎回、自分でとったノートになるべく当日中に一度、読み返すこと。疑問に思った部分があれば、事典等で調べたり、文章の修正をしたりすること。この簡単な作業をするだけでも学習成果は相当に上がるはずです。

6. その他履修上の注意事項

- ・日暮が担当する「外交史」「国際関係論」の履修が望まれます。
- ・充実したノートを自分自身で作成することが重要です。その理由は二つ。(1)講義を聴いて「ここは重要だ」と自分が判断した部分を迅速にメモする(ノートをとる)ことは、社会に出てから必要となる「問題のポイントをつかむ力」「判断力」をつける訓練になります。(2)人間は残念ながら物事をどうしても忘れてしまうので、覚えておくためにメモ(覚え書き、備忘録)をとることが必要です。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 冷戦とは何か
- 【第3回】 冷戦の展開(1)
- 【第4回】 冷戦の展開(2)
- 【第5回】 対日講和の始動(1)
- 【第6回】 対日講和の始動(2)
- 【第7回】 日本再軍備(1)
- 【第8回】 日本再軍備(2)
- 【第9回】 朝鮮戦争と日本
- 【第10回】 対日講和7原則
- 【第11回】 外務省と講和
- 【第12回】 講和と国際政治
(前後の時期、オンライン授業公開)
- 【第13回】 サンフランシスコ講和条約
- 【第14回】 試験、および議論のフィードバック(授業内での解説)
- 【第15回】 オンライン授業: 全面講和と多数講和(第12回授業と同時期に公開)